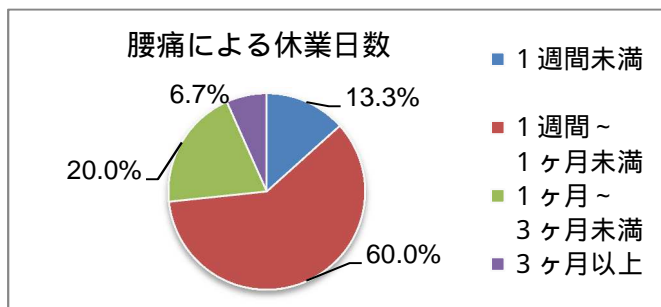


介護等を行うみなさまへ 腰痛を防止しましょう！

平成28年に福島県内で発生した休業4日以上労働災害のうち、社会福祉施設等で被災した人は112人でうち15人が腰痛によるものです。

腰痛災害被災者の86.7%が1週間以上休業
うち26.7%が1ヶ月以上休業



こんな作業中に腰痛が起っています

- ベッド、車いす等への移乗中
- 浴槽の出入り中
- トイレ介助中
- 衣服着脱中
- ベッドでの体位変換



「腰」は「体の要」だよ
どうぞ、痛めないでね！



介助のイラストは中央労働災害防止協会
「高齢者介護施設における雇入れ時の
安全教育マニュアル」より抜粋

腰痛防止のために、次の事項をチェックしてみよう。

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	人を抱える作業を、人力で行っていませんか。人力で行う場合、スライディングボードなどの福祉用具を使用していますか。	
2	前屈姿勢、中腰、半身をひねった姿勢等、無理な姿勢を取っていませんか。	
3	作業の姿勢、動作が不自然にならないよう、機器や設備が適切に配置、作業台やベッドの高さが調節されていますか。	
4	作業の姿勢、動作、手順、時間などについて、作業標準が策定されていますか。また、定期的な見直しが行われていますか。	
5	作業者に対し、作業標準の教育が行われていますか。	
6	ストレッチを中心とした腰痛予防体操を取り入れていますか。	

- ◆ 腰に負担のかかる作業については、リフト等機械化の推進、福祉器具の導入や適切な人員配置を検討しましょう！
- ◆ 適切な作業方法が守られるよう、安全教育をしましょう！

安全教育のための資料 厚生労働省 HP よりダウンロードできます！

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000153896.html>

管理者・教育担当者用 「高齢者介護施設における雇入れ時の安全教育マニュアル」
受講労働者用 「高齢者介護施設における雇入れ時の安全衛生教育用パンフレット」

痛めないでね！ 福島労働局 2017.10